

日々愛でる

出射 優希

みなさん、近頃はいかがお過ごしでしょうか。近頃は秋の空気が漂ったかと思えば陽がさして暑い日もあり、体も心もびっくりしております。10月後半の今では、我が家の藍がうっすらピンク色の花をつけはじめました。ふたつあるプランターのうち、種を採るためにひとつだけを残して、そろそろ藍じまいをしようかなと考えているところです。藍の控えめで小ぶりの花から、どんなふうにならぬのか未知なので、今からワクワクしています。



余談ですが、藍を育てはじめてから土いじり欲が増えて、小カブの種を植えたりもしています。隣の藍にはまったく虫がつかないのですが、どこかからやってきた芋虫にはこのカブがおいしいらしく、バクバクと食い荒らされています。違う植物を植えるとそんな違いも出てきて、おもしろいものです。藍を育て観察しながら、ペランダの風景や日々のルー

ティン、藍に関わる自分にも変化があるなど、改めて考えています。みなさんの住まう全国各地で、そんな変化が訪れていたことを、ご提出いただく記録を通して拝見できるのが楽しみです。講座はそろそろ終盤ですが、ウェブ上では「藍の学校」各講座を記録したレポートが、11月よりはじまります。もっと藍に関わりたいなど考えられている方は、次年度の参考に、ぜひチェックしてみてくださいね。



愛でるのおすすめ

『庭とエスキース』奥山淳士（みすず書房）

今回紹介してくれるのは、



ライター
出射 優希

本講座<原点の手触り>で、藍という古くから私たちの暮らしの身近にあった植物を育て、観察し、記録していただくなかで、「これで正解なのだろうか?」「私の藍はうまく育たなかったな」と、不安に思った方もいるのではないかと思います。そんな方におすすめしたいのが、『庭とエスキース』という、写真家の奥山淳士さんによる写真集です。本書は、北海道の丸太小屋で自給自足の生活を営む「弁造さん」という男性を見つめ続け、人と自然の協働によって作り出される豊かな庭の風景や、弁造さんの語り、また、そこから垣間見えるひとりの人の歴史や哲学が、奥山さんの丁寧な筆致によって描き出されています。この本の魅力は、奥山さんの語りのさなかに滲みでる「僕はなぜ弁造さんのもとへ訪れ、写真を撮るのだろうか。見つめたかったことはなんだろう」という逡巡です。この迷いとも向き合いながら点描を描くように心情を記録しようとする言葉は、立ち止まって考える時間こそのごとをじっくりと見つめるチャンスなんだということ、感じさせます。工夫してうまく育つ喜びと同じくらい、藍と向き合うことを通して迷ったり悩んだりする時間も尊いものです。みなさんが藍を育てながら立ち止まった時間、そこで考えたことを、ぜひ記録を通してお伝えください。



《お知らせ》藍の学校活動報告展 開催!

2025年 1月18日(土) ~ 1月27日(月)

時間: 10:00~17:00 入場無料 会期中無休
場所: 京都芸術大学 芸術館
〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山 2-116
京都芸術大学 人間館ギャラリー・オーブ 2階

藍の学校 HP▶



令和6年度藍の学校で開催した活動報告展、「藍より出づ 藍の学校 琉球編」を開催します。会期中には講演会やギャラリートークなどのイベントも。みなさんの『愛でるノート』などもこちらで展示します。最新の情報は藍の学校 HP などをご確認ください!



第三号 2024年11月

編集・イラスト オオニシカナコ

夏から秋へ花から種へ

こんにちは。藍を愛でる、オオニシです。11月です! だんだん朝晩が寒くなってきて、やっと秋の訪れを感じますね。さて、みなさん藍を愛でる夏はいかがでしたか? 私は夏はじめて、藍を味覚で楽しみました。藍のお茶を飲んでみたり、おひたしをいただいたり。振り返れば、染めて食べて、学んで、藍に溢れた夏でした。

今回の愛でる通信第三号では、夏に届いたみなさんの#藍を愛でるを掲載しています!(載せきれず、載せられなかった方ごめんない!)

2024年の藍を愛でるも終盤です。我が家の藍は花が咲き、色づき、そして茶色く枯れ始めました。次は種取りです。最後まで楽しんでいきましょう◎

みなさんの#藍を愛でるは裏面へ〜

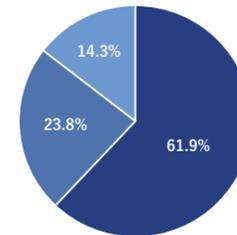
先日のアンケート結果を少し公開!

ご回答いただきましたみなさまありがとうございます!(10月1日配信アンケートより回答21名) レクチャー最終回、次回の愛でる通信では、藍を愛でるを振り返りたいと思います!

Q1

アイは育ちましたか?

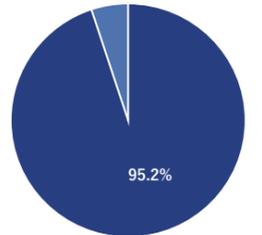
- 染色できた
- 育ったが染色できなかった
- 途中で枯れてしまった



Q2

アイを育て、愛でることで気がついたことや驚いたことありましたか?

- はい
- 無回答



種の取りかた

1 刈り取る

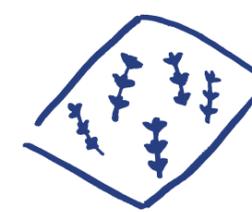
お花が茶色くなって、茎や葉が枯れ始めたら、アイを刈り取ります。



タイミングがわからないときは花穂をほぐして見て、茶色い種ができるまで、待つのもひとつかも

2 乾燥させる

風通しのいい場所におき乾燥させます。



ドライフラワーづくりのように逆さにして干したり、穂先だけ切って乾燥させるのも!

3 取り出す

乾燥した花穂を指でつまんで揉むと種を取ることができます!



また春に採った種を蒔いてみましょう〜

この方法はあくまでも1例です! いろんな方法を調べて、試してみてください◎



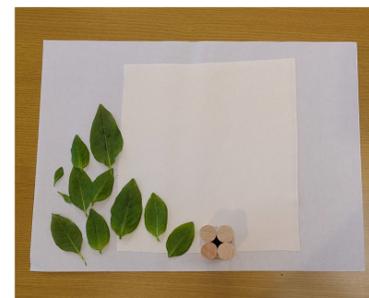
藍のおかげでベランダ時間が
増え、猫も様子を見に出て
くるようになりました。



藍のたたき染め記録。
隙間時間に葉っぱをつんで叩いて
たたいて、やっと完成。



もともと発芽に失敗してヒョロヒョロの芽にして
しまい（室内で過保護に見守っていたせい）、上
手く育たないのでは……と心配してたので、ちょ
っとだけでも収穫できて良かったです。



たたき染めに挑戦してみました！結
構しっかり藍に染められて嬉しかっ
たです！葉脈も良い感じの模様にな
っていて、良い感じ！



たたき染めしてみました。
夏休み、子どもの体験に。
木槌をふるうのが楽しいみたいです。

みなさんの #藍を愛でる



木槌でだいぶ叩いたのですが、葉が
柔らかいせいか葉が割れてしまいそ
れ以上なかなか出来なかったです。



藍を愛でるの鯨さん



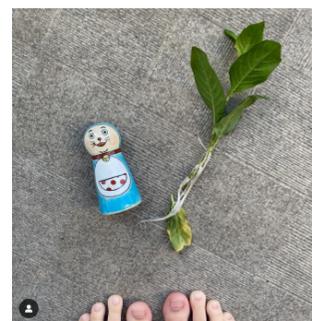
ついに、全部枯れてしまいました。
残りの二つを何とか育てたいと、肥
料をあげたら...



叩き染めをしました！



藍仲間に教えてもらった
コロコロ染めに挑戦！



何の気なしに藍を一輪挿しに挿
しておいたら、1週間ちょっと
でこんなによりよる根が生
えていてびっくりした。



かわいいのができました！



一本ずつ切っていったので、短
く残ったのを中心に、またガイ
ガイ育ってます！



藍は、消滅してしまった苗のプランタ
ーが2つ、現在20cmほどに育ってい
るプランターが3つあります。



タデ藍のスワッグ。次は種とり。